



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新村 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 ゼネラルマネージャー (氏名) 浅野 茂雄

TEL 03-6265-3339

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,929	0.3	245	104.2	233	117.5	699	
29年3月期第3四半期	2,937	14.0	120		107		29	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 684百万円 (2,318.6%) 29年3月期第3四半期 28百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
30年3月期第3四半期	319.51	
29年3月期第3四半期	13.39	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
30年3月期第3四半期	2,662	727	27.3	332.40
29年3月期	2,410	43	1.8	19.65

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 727百万円 29年3月期 43百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただきます。

なお、今後業績予想が可能になりました段階で改めて公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,237,720 株	29年3月期	2,237,720 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	48,723 株	29年3月期	48,613 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,189,063 株	29年3月期3Q	2,189,273 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足感の更なる高まりへの懸念、中国経済の減速懸念等が続いているものの、世界の経済成長、外需の持ち直しや内需の底堅さを背景に改善が見込まれております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き健康医療介護の新たな商品開発を推進しております。また、既存のインターネット関連事業、通信事業において売上を拡大し、堅調に収益を伸ばしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が2,929百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。損益面におきましては、営業利益245百万円（同104.2%増）、経常利益233百万円（同117.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益699百万円（同2,285.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、「ECサイト関連事業」及び「海外事業」について量的な重要性が低下したため「その他」として記載する方法に変更しております。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発、データセンターの運用・保守及び不動産仲介業者向けASPサービスの提供等を行い、売上高は1,033百万円（前年同四半期比29.2%減）となりました。

[通信事業]

MVNO（※1）、FVNO（※2）を中心とした情報通信サービス全般とISP（※3）の企画、開発、運営を行い、売上高は1,726百万円（前年同四半期比36.9%増）となりました。

[健康医療介護情報サービス事業]

病院・薬局向けの薬歴管理・服薬指導業務支援システムの開発・販売・保守、医療情報管理ソフトウェアの販売・保守等を行い、売上高は184百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

[遺伝子情報サービス事業]

遺伝子解析キットの販売及び遺伝子情報の解析、遺伝子検査項目の中から特定の検査項目を選択して遺伝子検査サービスを行うことが出来る法人向けASPサービスの開発等を行っておりましたが、平成29年10月2日公表の「（開示事項の経過）「連結子会社における株式交換契約締結及び特別利益の計上に関するお知らせ」の株式交換手続きの完了及び連結子会社の異動に関するお知らせ」のとおり、株式会社ユーグレナを株式交換親会社とし、当社連結子会社であるジーンクエストを株式交換完全子会社とする株式交換手続きが完了しており、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外し、遺伝子情報サービス事業から撤退しております。従いまして当第3四半期連結累計期間においては、第2四半期連結累計期間と同額であり、売上高は28百万円（前年同四半期比39.6%減）となりました。

[その他]

WEBサイトの企画・運営及び管理等を行い、売上高は2百万円（前年同四半期比65.6%減）となりました。

（※1）Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

（※2）Fixed Virtual Network Operatorの略。自社で固定回線のネットワークを持たず、他の事業者から借りてあるいは再販を受けて固定通信サービスを提供する事業者。

（※3）Internet Services Providerの略。公衆通信回線などを經由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業者。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、2,662百万円となりました。これは現金及び預金の増加241百万円、投資有価証券の増加202百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ432百万円減少し、1,934百万円となりました。これは長期借入金の減少207百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ684百万円増加し、自己資本比率は27.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することによって、業績予想の開示を控えさせていただいております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,471	1,681,574
受取手形及び売掛金	540,620	437,204
商品及び製品	7,767	7,692
仕掛品	—	17,380
その他	95,780	27,759
貸倒引当金	△5,759	△5,002
流動資産合計	2,078,879	2,166,608
固定資産		
有形固定資産	93,209	76,695
無形固定資産		
のれん	175,707	157,700
その他	24,979	21,867
無形固定資産合計	200,687	179,567
投資その他の資産		
投資有価証券	—	202,051
敷金及び保証金	32,983	30,868
その他	63,499	63,598
貸倒引当金	△58,601	△56,940
投資その他の資産合計	37,881	239,579
固定資産合計	331,778	495,842
資産合計	2,410,658	2,662,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	452,432	453,397
短期借入金	570,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	112,014	85,843
未払金	85,807	63,222
未払法人税等	52,898	83,860
預り金	517,794	385,396
その他	156,587	85,250
流動負債合計	1,947,536	1,726,971
固定負債		
長期借入金	401,393	193,470
その他	18,709	14,378
固定負債合計	420,102	207,848
負債合計	2,367,638	1,934,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	402,886	402,887
利益剰余金	△2,399,412	△1,699,994
自己株式	△61,704	△61,917
株主資本合計	49,769	748,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△14,569
為替換算調整勘定	△6,750	△6,775
その他の包括利益累計額合計	△6,750	△21,345
純資産合計	43,019	727,630
負債純資産合計	2,410,658	2,662,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,937,591	2,929,705
売上原価	2,118,756	2,073,647
売上総利益	818,835	856,058
販売費及び一般管理費	698,678	610,669
営業利益	120,156	245,388
営業外収益		
受取利息	187	310
受取配当金	144	—
貸倒引当金戻入額	2,119	2,789
その他	1,202	698
営業外収益合計	3,654	3,799
営業外費用		
支払利息	16,239	15,486
その他	142	78
営業外費用合計	16,382	15,565
経常利益	107,428	233,621
特別利益		
投資有価証券売却益	402	2,512
関係会社株式交換益	—	570,764
特別利益合計	402	573,277
特別損失		
固定資産除却損	9,241	61
減損損失	730	5,574
和解金	34,466	—
特別損失合計	44,437	5,635
税金等調整前四半期純利益	63,392	801,263
法人税、住民税及び事業税	37,516	105,481
法人税等調整額	△3,438	△3,635
法人税等合計	34,078	101,845
四半期純利益	29,314	699,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,314	699,418

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	29,314	699,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307	△14,569
為替換算調整勘定	△692	△25
その他の包括利益合計	△999	△14,594
四半期包括利益	28,315	684,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,315	684,823
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	健康医療介護 情報サービス 事業	遺伝子情報 サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,444,029	1,260,918	178,534	47,873	2,931,355	6,235	2,937,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,178	—	—	—	17,178	990	18,168
計	1,461,207	1,260,918	178,534	47,873	2,948,534	7,225	2,955,759
セグメント利益 又は損失(△)	111,204	186,588	△57,952	△39,851	199,989	△3,096	196,892

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ECサイト関連事業及び海外事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	199,989
「その他」の区分の利益	△3,096
セグメント間取引消去	△1,695
全社損益(注)	△75,040
四半期連結損益計算書の営業利益	120,156

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	インターネット 関連事業	通信事業	健康医療介護 情報サービス 事業	遺伝子情報 サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	993,745	1,724,829	181,255	28,419	2,928,251	1,454	2,929,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,109	1,760	3,054	497	45,421	1,030	46,452
計	1,033,855	1,726,590	184,309	28,917	2,973,672	2,484	2,976,157
セグメント利益 又は損失(△)	148,371	252,012	△15,984	△29,794	354,605	△5,408	349,197

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ECサイト関連事業及び海外事業を含んでおります。

2. 「遺伝子情報サービス事業」については、平成29年10月1日付で株式交換を行ったため、本事業の主体であった株式会社ジーンクエストを、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「遺伝子情報サービス事業」におけるセグメント資産が、189,154千円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	354,605
「その他」の区分の利益	△5,408
セグメント間取引消去	408
全社損益（注）	△104,217
四半期連結損益計算書の営業利益	245,388

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「ECサイト関連事業」及び「海外事業」について、量的な重要性が低下したため「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成28年3月期まで5期連続で親会社株主に帰属する当期純損失を計上しておりました。前連結会計年度においては親会社株主に帰属する当期純利益23百万円を計上しましたが、少額であることから継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。

この状況に対処すべく、下記のとおり当該事象を解消又は改善するための対応策を講じることにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと認識しております。

①収益力の安定化と拡大

- ・既存事業の安定化
 - －既存顧客の維持・新規顧客の開拓
 - －事業ポートフォリオの最適化
- ・成長戦略事業の収益化
 - －ビジネスモデルの早期構築
 - －他社製品との差別化の早期実現
- ・グループシナジーの追求
 - －既存顧客に対するグループ商材の販売促進
 - －グループ内のノウハウを集結した新たなソリューション開発・販売

②財務体質の改善

- ・自己資本の充実・有利子負債の削減
 - －収益力の安定化と拡大による内部留保の積上げ
 - －エクイティファイナンス・事業売却等の検討
- ・効率的な資金運用
 - －グループ会社のキャッシュマネジメント
 - －投資に対するチェックシステムの改善